

香川大学生のための
**海外留学・研修
ハンドブック**

2023-2024



KAGAWA
UNIVERSITY

はじめに

このハンドブックでは、香川大学でどのような海外留学ができるのか、留学を実現させるためにはどのような手続きが必要なのか、どのような留学をいつ経験するのが効果的なのかなど、在学中の海外留学を検討するときに必要な情報を簡単にまとめてあります。

「海外には関心があるけど留学は考えていない」と言う人、「留学にはお金がかかるから無理だろう」と考えている人もいるでしょう。そんな人もぜひ、このハンドブックを開いてみてください。大学を通して応募できる奨学金の情報も掲載してあります。

香川大学の学生の皆さんには、グローバル感覚をもって、目の前のローカルな課題解決に取り組み、リーダーシップを発揮する人となることが期待されます。地域の様々な課題解決のための取り組みを、世界で共通する課題解決の取り組みとして発信することも求められていくことでしょう。そのためにはコミュニケーション能力や専門知識などのスキルとともに、世界や環境、人間の多様性についての深い認識が必要となります。

留学は、世界や社会についての視野を広げると同時に、自分自身についてより深く知る機会となっており、価値観や感性に変化をもたらしてくれます。そのことはきっとみなさんの人生の選択肢を大きく広げてくれるでしょう。ぜひチャレンジしてみてください。

なお、このハンドブックで紹介している留学プログラムや各種情報はほんの一部です。香川大学の留学プログラムについての最新の詳しい情報は、インターナショナルオフィスや所属学部で入手するようにしてください。

香川大学の海外留学相談窓口

香川大学インターナショナルオフィス

〔場所〕 幸町南キャンパス2号館1階 国際課

〔連絡先〕 globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp

IOWeb(留学相談)



Contents

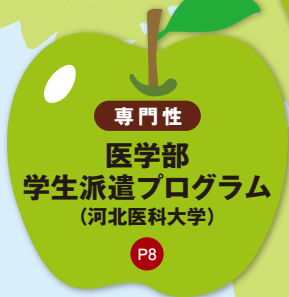
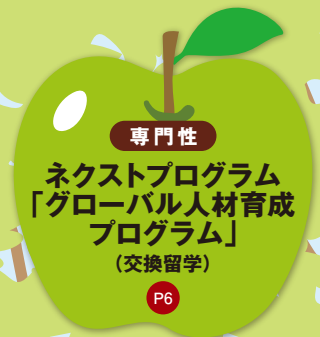
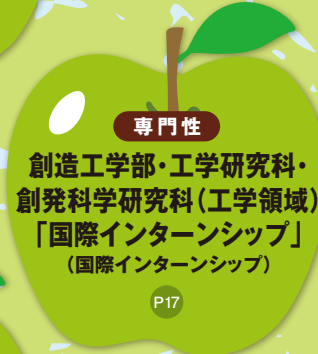
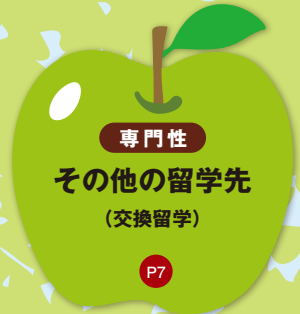
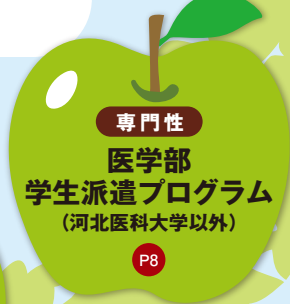
● 香川大学 STUDY ABROAD TREE	P2
● 交換留学(交換留学とは?)	P4
● 交換留学(EXPLORE)	P5
● 交換留学(ネクストプログラム「グローバル人材育成プログラム」)	P6
● 交換留学(その他の留学先)	P7
● 医学部「学生派遣プログラム」	P8
● SUIJI-SLP「海外サービスラーニング」	P10
● 全学短期海外研修	P11
● 海外体験型異文化コミュニケーション	P12
● 開発途上国でのボランティア活動・インターン(JICA 関連)	P13
● 経済学部「(特別講義)海外研修」	P14
● 創造工学部「協定校訪問交流プログラム」	P16
● 創造工学部「国際インターンシップ」	P17
● 農学部・農学研究科「国際応用科学研修I・II」	P18
● 農学研究科「チェンマイ大学ダブルディグリープログラム」	P19
● 留学経験者の声	P20
● 海外渡航学生のための危機・安全管理	P22
● 海外留学のための奨学金	P24
● キャンパスのなかでの国際交流活動	P28
● 海外留学情報リンク集	P29
● 香川大学との学術交流協定校一覧	P30

香川大学 STUDY

上級

難易度

初級



ABROAD TREE

専門性

農学研究科
「チェンマイ大学・
ダブルディグリー
プログラム」

P19

専門性

開発途上国での
ボランティア活動・
インターン
(JICA 関連)

P13

専門性

異文化理解力

農学部
「国際応用科学研修」

P18

異文化理解力

SUIJI-SLP
「アドバンスド
海外サービス
ラーニング」

P10

異文化理解力

SUIJI-SLP
「ベーシック
海外サービス
ラーニング」

P10

異文化理解力

海外体験型異文化
コミュニケーション

(文化研修)

P12

異文化理解力

創造工学部・工学研究科・
創発科学研究科(工学領域)
「協定校訪問交流プログラム」
(協定校訪問)

P16

異文化理解力

経済学部
「(特別講義)海外研修」

経済学部以外の学生も履修可。
ただし、単位認定については、
所属学部を確認すること。

P14



交換留学 交換留学とは？

交換留学ってどんなもの？

香川大学の正規課程の学生が、本学に在学・在籍したまま、学術交流協定を締結している海外の大学において学びます。1年を限度として1学期または複数学期の間、科目履修または研究指導などの教育の機会を得る留学を指します。

交換留学の特徴

- ★香川大学へ授業料を納めていれば、留学先の授業料は必要ありません(例外もありますので、詳しくは、インターナショナルオフィスへお問い合わせください)。
- ★留学先で取得した単位は、所定の手続きを経て香川大学の単位として認定されます(例外もありますので、詳しくは、インターナショナルオフィスへお問い合わせください)。
- ★留学先の大学で、現地の学生とともに正規の授業を受けることができます(ただし、一定の語学力が必要です)。

交換留学の手続きの流れ

交換留学には通常、留学開始の1年、または1年半前からの準備が必要です。留学を思い立ってから留学開始までの流れについては以下を参考にし、早めに準備を始めましょう。

ステップ 1 留学目的を明確にする
何を学びたいのか？
自分の学びたいこと(専攻など)を明確にしましょう。

ステップ 2 留学先を絞り込む
自分が学びたいことを学べる大学はどこか？
インターナショナルオフィスや所属学部で確認。

ステップ 3 応募資格を確認する
語学力やその他の応募資格は？
インターナショナルオフィスや所属学部で確認しましょう。

ステップ 4 学内の交換留学生へ応募する
応募に必要なものや時期は？
インターナショナルオフィスや所属学部で確認しましょう。

ステップ 5 学内選考
学内において、応募書類による審査や面接があります。

ステップ 6 留学先への出願
学内選考を通過！
留学先への出願書類を準備しましょう。

ステップ 7 留学先で履修可能な科目など
留学先ではどんな科目があるの？
留学先で履修可能な科目などを調べましょう。

ステップ 8 受入決定
留学先から受入決定の通知！
あなたの留学が正式に決定します。

ステップ 9 ビザや海外旅行保険、飛行機の手配
インターナショナルオフィスや所属学部と相談しながら、
留学開始に向けて、さまざまな手続きを行います。



問合せ先 インターナショナルオフィス (087-832-1148 / globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp)



交換留学 EXPLORE

EXPLOREとは？

EXPLOREは、本学の学術交流協定校であるブルネイ・ダルサラーム大学(ブルネイ・ダルサラーム国)およびチェンマイ大学(タイ王国)における交換留学です。本制度による留学を通して、専門知識と技能、語学力を高め、国際化する地域の諸課題を解決する能力を養うことを目的としています。

本制度で派遣される学生は留学先の大学において、本学での専攻分野に応じた科目を受講します。本制度で受講できる科目は両大学とも、主として英語による科目です。授業料は相互不徴収(香川大学へのみ納入)です。

香川大学の所属学部における審査を経て、留学先で取得した単位を本学の単位として認定することが可能です。

【応募資格】

- ① 香川大学の正規課程の在籍学生。
- ② 留学先での学修および生活に足る外国語能力を有する者(TOEIC600、TOEFL500、IELTS5.0以上を目安とする)。
- ③ 学業成績が優秀である者(GPA2.5以上を目安とする)。
- ④ 留学先の学則等に従って行動できる者。

※これは2022年度募集の要件であり、次年度以降変更される場合があります。

【募集人数・留学期間】

ブルネイ・ダルサラーム大学……………5名以内
(第1セメスター)8月～12月
(第2セメスター)翌年1月～5月

チェンマイ大学……………3名以内
(第1セメスター)6月～10月
(第2セメスター)11月～翌年3月

【応募時期】

毎年度1月初旬応募締切の予定です。
各年度の応募時期や締切については、秋(11月頃)にお知らせします。

【留学費用】

香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)に応募できます。

※この事業については、所属学部学務係、または国際課へ問い合わせること。



問合先 インターナショナルオフィス(087-832-1148/globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp)



交換留学

ネクストプログラム 「グローバル人材育成プログラム」

グローバル人材育成プログラムとは？

香川大学ネクストプログラムの一つで、グローバル化の進む地域社会の課題解決に貢献できる人材、国際的に通用する語学力と専門知識や技能をもつ人材の育成を目指し、語学力の向上と在学中の海外留学(原則として1年間)の実現をサポートするプログラムです。英語圏(アメリカなど)の大学への留学を目指す英語コースと中国語圏(中国、台湾)の大学への留学を目指す中国語コースがあります。

ネクストプログラムのために開設された特別授業と自宅学習により、1年半～2年間の語学集中訓練を積みます。その後、語学検定試験(TOEFL、HSK)で基準以上のスコアを取得すると、ネクストプログラムの留学対象者となります。

グローバル人材育成プログラムの特徴

- ★留学にむけて語学力向上を目指したプログラム関連授業科目
- ★ネイティブスピーカーとの対話レッスン(オンライン等)

授業プラス自律学習によりTOEFL、HSKの基準スコア突破を目指します。

- ※ TOEFLはアメリカ留学に必要な英語検定試験です。
- ※ HSKは中国政府公認の中国語検定試験です。



留学

一定の語学レベルまで達した参加者は、カリフォルニア州立大学(アメリカ)、上海大学(中国)、国立政治大学(台湾)など、プログラムが指定した海外の大学で原則として1年間(英語コースについては半年から1年の間)の留学経験を積みます。

留学にあたっては、大学が奨学金等の支援を行います(渡航費、授業料、寮費等)。

- ※ 本プログラムでの留学を理由に休学することはできませんので、留学期間中は本学の授業料が徴収されます。



プログラムの修了

香川大学および留学先大学でプログラムの修了要件を満たした学生には、修了認定証が発行されます。特に優秀な成績を収めたと認められる学生には卒業時に学長表彰等を行います。

プログラム説明会

英語コースは入学当初に開催されるネクストプログラム全体ガイダンス、中国語コースは中国語の授業の中で説明が行われます(中国語コースの希望者は、全学共通科目の初修外国語で中国語を履修してください)。

- ※ ネクストプログラムの詳細は、香川大学ネクストプログラムのホームページ(特に「履修の手引」)をご覧ください。

問合せ 教育・学生支援部修学支援課(087-832-1365・1363 / syugaku-h@kagawa-u.ac.jp)



交換留学 その他の留学先

交換留学 — その他の留学先

香川大学の交換留学制度を使って派遣されている海外の大学を一部ご紹介します。ここに掲載する以外の海外の協定校への交換留学も可能です。詳しくは、インターナショナルオフィスや所属学部学務係へお問い合わせください。

ドイツ・ラインマイン大学経済学部

【応募資格】

- 1 香川大学の正規課程の在籍学生
(経済学部および経済学研究科または創発科学研究科)。
- 2 専攻分野での学習目的が明確で、勉学意欲に富む者。
- 3 学業成績が優秀である者。
- 4 応募時点で、すでにドイツ語6単位以上を修得済みの者で、ドイツ語技能検定試験3級以上
に合格した者、あるいはこれに相当するドイツ語力を証明する証明書を持つ者。

※ 応募要件は変更されることがあるので担当部署に確認をすること。



【募集人数】

原則2名以内

【留学期間】

(夏学期) 4月～9月
(冬学期) 10月～翌年3月

※ 変更されることがあります。

【応募時期】

(夏学期) 前年度9月～10月頃
(冬学期) 前年度3月～4月頃

※ 変更されることがあります。

【留学費用】

1学期あたりの必要経費は、セメスター費約250ユーロ、寮費約300～400ユーロ、敷金・礼金約600ユーロ(いずれも変更の可能性あり)、その他に渡航費など諸経費が必要となる。

香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できます^(※)。

※この事業については、所属学部学務係、または国際グループへ問い合わせること。

アメリカ・コロラド州立大学

【応募資格】

原則としてTOEFL iBT 72程度またはそれと同等の英語力を証明する証明書を有し、香川大学での学業成績が優秀であるもの

※ 応募要件は変更されることがあるので担当部署に確認に行くこと。

【募集人数】

1～2名(授業料不徴収、教育学部優先)

※ 留学希望者は、なるべく早く担当部署に相談に行くこと。

【留学期間】

(春学期) 1月～5月

(夏学期) 5月～8月

(秋学期) 8月～12月

【応募時期】

前年度4月(春・夏学期)

前年度10月(秋学期)

【留学費用】

英語能力が不足している場合は、IEP(集中英語プログラム)への参加が必要です。秋学期(2022/8/15～)、春学期(2023/1/17～)及び夏のプログラム(2022夏、\$11,915)が開講されており、費用はおおよそ1セメスター\$15,300、1年で\$30,650です。

香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できます^(※)。

※この事業については、所属学部学務係、または国際グループへ問い合わせること。

問合せ先

(ラインマイン大学) 教務課学務第二係 経済学部担当 (087-832-1815 / je-kokusai-c@kagawa-u.ac.jp)

(コロラド州立大学) 教務課学務係 教育学部担当 (087-832-1411 / l-kokusai-c@kagawa-u.ac.jp)



医学部 学生派遣プログラム

中国・河北医科大学派遣

(医学科・看護学科・臨床心理学科 1～3年生、約1週間)

中国の協定校である河北医科大学を訪問し、中国の医学科・看護学・臨床心理学が関わる現場の実体験を通じて学ぶとともに、現地の学生との交流の機会を持ちます。



タイ・チェンマイ大学看護学部派遣

(看護学科 2～4年生、約2週間)

本学の最も重要なパートナー校の一つであるチェンマイ大学を訪問し、看護学部の講義や現地病院での実習に参加してタイの看護を学ぶとともに、学生交流等を通じて異文化への理解を深めます。

ブルネイ・ダルサラーム大学「夏季医学セミナー」派遣

(医学科 2～4年生、約5週間)

ブルネイ・ダルサラーム大学で開催される夏季医学セミナーに参加し、ブルネイの学生とともにPBL (Project-based learning) 方式によって英語で医学を学習します。さらにブルネイの自然に触れるとともに、イスラム文化等への理解を深めます。

「医科学研究」による海外派遣

(医学科 3年生、約5週間)

医科学研究に一定期間集中して取り組み、医科学研究に対する研究力と研究倫理の涵養を目的とする科目「医科学研究」の一環として、ブルネイ・ダルサラーム大学およびアメリカ・カリフォルニア大学マーセド校を訪問し、英語環境の下で研究に取り組みます。

「医学実習Ⅱ」による海外臨床実習派遣

(医学科5～6年生、約3～6週間)

医学科5～6年配当科目「医学実習Ⅱ」における臨床実習の一環として、本学の協定校(準協定校含む)である英国・グラスゴー大学、英国・ロンドン大学セントジョージ医学校、英国・ニューキャッスル大学、およびタイ・チェンマイ大学等における臨床実習に参加します。海外の先生方とともに臨床の現場で学ぶことで、医療人として世界に通用する高度かつ専門性の高い知識と能力の獲得を目指します。参加者には高い英語能力が求められます。



- ★これらの派遣事業に加えて、学生主体の派遣事業や、トビタテ!留学JAPANなど、様々な留学の機会があります。皆さんの挑戦を期待しています。また、海外の協定校から多くの留学生を受け入れています。
- ★各派遣事業の詳細については、医学部国際交流委員、および学務課教務係に問い合わせてください。
- ★留学先や期間に応じて、留学費用の支援制度があります。

問合せ先 医学部学務課教務係 (087-891-2071 / kyoumu-m@kagawa-u.ac.jp)



日本・インドネシアの農山漁村で展開する 6大学協働サービスラーニング・プログラム

Six-University Initiative Japan Indonesia - Service Learning Program (略称 SUIJI-SLP) は、日本とインドネシアの6大学(香川大学、愛媛大学、高知大学、ガジャマダ大学、ボゴール農業大学、ハサヌディン大学)が協働して実施するプログラムです。6大学の学生がともに、四国とインドネシアの農山漁村地域に滞在し、現実社会が直面している課題に取り組みながら学びます。

現実社会の中で、他者と自分に向き合い、多様な人々と協働しながら、課題解決に向けた実践を試み、試行錯誤の経験の中から、未来社会の持続的発展に貢献できる国際的なサーバント・リーダー(地域社会で献身的に活動するリーダー)を養成することを目指したプログラムです。

「ベーシック海外サービスラーニング」 「アドバンスド海外サービスラーニング」

【研修先】

ボゴール農業大学(Bogor site)
ガジャマダ大学(Imogiri site)
ハサヌディン大学(Spermonde site)

【内容】

上のいずれかの大学およびサイトで、インドネシアの学生と一緒に農山漁村に滞在して、実践・貢献しながら学ぶ。

【研修時期】

2~3月頃、2~3週間程度

【履修要件】

TOEIC L&R 430点以上(2年以内に受験のもの)。農学部以外の学生の履修も可能^(※1)。

全学共通科目主題B-2「サーバント・リーダー養成入門」、および農学部「ベーシック国内サービスラーニング」「アドバンスド国内サービスラーニング」とセットで履修することが望まれる。

(※1) 農学部以外の学生の単位認定については、所属学部を確認すること。

(※2) 香川大学・愛媛大学・高知大学のいずれかの教員が引率。

【定員】

農学部学務係に
確認すること。

【教員の引率】

有^(※2)

【費用】

約17万円、その他雑費(履修学生負担)

日本学生支援機構の奨学金7万円程度(給付基準を満たす者のみ)(予定)



STUDY ABROAD

社会で活躍できるグローバル人材育成のための研修プログラムを本学の学術交流協定校において提供します。①英語語学研修(西オーストラリア大学)と②Discover Brunei Course(ブルネイ・ダルサラーム大学)の2つのプログラムがあります。海外での経験を積むことにより、「生きた英語力」と「国際的感覚」を高めることを目的としています。



【研修先】

- ①西オーストラリア大学
- ②ブルネイ・ダルサラーム大学

【定員】

約15名

【研修時期】

- ①8～9月、5週間
- ②8月、4週間

【本学教員の引率】

無

【履修要件】

全学部生

【履修方法】

全学共通科目・高学年向け教養科目「Study Abroad」として開講。



【費用】

- ①約50～60万円
- ②約20～30万円

問合せ インターナショナルオフィス
(087-832-1148 / globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp)

語学研修 — 韓国語

韓国の大邱大学で実施される韓国語研修プログラムです。夏休み中に受講することができ^(※)、期間は3週間です。

※2023年度のプログラム期間は、本学の試験期間または予備日と重なっているため、十分注意すること。特に、冬のプログラムは授業期間・試験期間と大きく重なるため、紹介していない。

問合せ インターナショナルオフィス 高水 (087-832-1195 / takamizu.toru@kagawa-u.ac.jp)

文化研修 — 海外体験型異文化コミュニケーション

本授業は海外異文化体験の入門です。日本とゆかりの深い台湾は、経済的結びつきも強く、アジアの重要な拠点です。授業では、台湾中部の嘉義市に所在する台湾国立嘉義大学に行き、台湾について現地で学ぶだけでなく、現地での学生同士のディスカッションを通して、国際コミュニケーション力を養います。実際に異文化を見聞し、話し合う経験を積むことは、台湾に限らず、他の国々の人たちとコミュニケーションする際にも役立ちます。

【研修先】

台湾国立嘉義大学、嘉義市周辺

【定員】

約20名

【研修時期】

春期休暇中のおよそ2週間

【教員の引率】

有

【履修要件】

全学部生

【費用】

約25万円

※航空運賃の変動が大きいため、価格は目安である。



【履修方法】

全学共通科目・主題および高度教養教育科目「海外体験型異文化コミュニケーション」として開講。



▼以下は、過去の授業例です。

内 容	場 所	内 容	場 所
<ul style="list-style-type: none"> ● ガイダンスとイントロダクション、授業の説明及び確認 ● 台湾に関する基本情報(宗教、祭り、産業、歴史、経済、社会等) ● 香川県の紹介(プレゼンテーション用) ● 中国語の講習会 ● 香川大学の紹介(プレゼンテーション用) ● 英語・日本語・中国語による自己紹介・プレゼンテーションの準備、予行演習 ● 出国手続き、危機管理に関する講習 	日本	<ul style="list-style-type: none"> ● 顔合わせ、キャンパスツアー ● 中国語講座、課外研修(陶器村) ● 中国語講座、課外研修(ヒノキ公園、北門) ● 中国語講座、課外研修(TK Food) ● 中国語講座、課外研修(故宫博物院) ● プレゼンテーション、送別会 	台湾
		帰国後、学内で <ul style="list-style-type: none"> ● 成果発表会準備 ● 成果発表会 	

問合せ インターナショナルオフィス ロンまたは高水

(087-832-1871・1195 / rlong.lim@kagawa-u.ac.jp、または takamizu.toru@kagawa-u.ac.jp)



JICA 関連

開発途上国でのボランティア活動・インターン(JICA 関連)

香川大学は独立行政法人国際協力機構(JICA)と連携し、開発途上国での国際協力に貢献できるグローバル人材の育成を目指しています。また JICA と連携して開発途上国の人材を本学に留学させています。

学生が参加可能なプログラムとして、ボランティア事業への参加、JICA の国内機関・海外事務所や国際協力プロジェクト現場におけるインターンがあります。

ボランティア事業は「JICA 海外協力隊(青年海外協力隊)」として知られており、原則2年間の長期派遣と、1か月～1年の短期派遣があり、年2～3回公募されます。活動分野は人的資源(理科教育、数学教育、幼児教育、青少年活動、音楽、スポーツ、青少年活動など)、農林水産(稲作、野菜、家畜飼育など)、保健医療(看護師、感染症対策、公衆衛生など)、社会福祉(障がい児・者支援、ソーシャルワーカーなど)と多岐にわたっています。今までに香川大学からは94名の学生・卒業生が長期ボランティアとして41か国での活動に参加しています(2023年1月現在)。

JICA インターンは大学の長期休暇を中心として、JICA の東京本部や地方の国内機関(高松の JICA 四国)、海外事務所及び海外の国際協力プロジェクト現場で1～3か月程度実施するもので、年2回公募されます。将来国際協力に従事したい方はもちろん、将来海外で働いてみたい方にもお勧めします。

	JICA 海外協力隊(長期)	JICA 海外協力隊(短期)	JICA インターン
応募資格	満20歳から満69歳までの日本国籍を持つ者	満20歳から満69歳までの日本国籍を持つ者	日本語での業務遂行が可能な大学生・大学院生(国籍不問)
派遣先	アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東の約80か国	アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東の約80か国	JICA 本部、国内機関、JICA 海外事務所※、国際協力プロジェクト現場
派遣期間	原則2年間	1か月～1年	1か月～3か月
募集時期	年2回(4～5月、10～11月)	年3回(3月、8月、11月)	年2回(4月、10月)
待遇など	JICA の規程に基づき往復旅費、現地生活費、住居費等を支給	JICA の規程に基づき往復旅費、現地生活費、住居費等を支給	原則自費。海外インターンの場合には旅行傷害保険加入、予防接種、滞在費について一部補助あり

※2021年度の参加者 1名
2022年度の参加者 1名
海外でのインターンは2022年度はありませんでした。

大学連携ボランティアについてはお問い合わせください。また、最新情報はホームページにてご確認ください

▶ <https://www.jica.go.jp/for/join.html> で確認してください

問合せ インターナショナルオフィス 尾上(087-832-1179)
国際課(087-832-1149 / globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp)

経済学部「(特別講義)海外研修」

それぞれの外国語について、現地で短期間の語学研修を行うとともに、自らが外国人となり、現地の人々と積極的に交流します。また、各種文化施設、商業施設、歴史的建造物、観光名所などを訪れ、当該国の文化・社会・歴史・生活について実践的に学びます。経済学部以外の学生の履修も可能です^(※)。

アメリカ**【研修先】**

ハワイ大学マノア校
(2023年度実施予定、研修先は変更になる場合があります。)

**【内容】**

ハワイ大学マノア校において、1週間の語学研修を行う。

【研修時期】

3月上旬頃

【定員】

15名
(参加者が定員に達しない場合、中止になることがあります)

【履修要件】

海外旅行未経験の1～2年生の参加を歓迎する。

【教員の引率】

有

【履修方法】

10月に経済学部および全学共通教育の掲示板にて案内する。

【費用】

約20万円
(履修学生負担)

ドイツ**【研修先】**

ラインマイン大学
(2024年3月実施予定)

**【内容】**

ラインマイン大学での語学研修、ウィースバーデン市でのフィールドワークを行う。フィールドワークの目的や内容は各学生の興味関心に沿って設定する。

【研修時期】

2月末～3月上旬頃、約10日間

【履修要件】

全学共通科目のドイツ語を受講している学生。

【定員】

12名前後

【教員の引率】

有

【履修方法】

10月初旬に開催される説明会に参加した上で、10月中に参加申込書を提出する。

【費用】

約30万円
(履修学生負担)

フランス**【研修先】**

トゥール(予定)
(2023年度の実施は未定)

【履修要件】

全学共通科目のフランス語を4単位以上取得済みか取得予定であること。

【定員】

12名前後

【内容】

フランス語学学校での語学研修および現地での実践的研修を行う。実践的研修には現地の大学や市役所を通じた交流などが含まれる。

【履修方法】

夏休み前に、研修の概要についてのプリントをフランス語の授業時に配布するので、よく読んで検討すること。履修希望者は10月の研修説明会に出席し、説明を受けたうえで、10月下旬に申込書兼保証人同意書を学務係に提出する。

【教員の引率】

有

【費用】

約30万円(履修学生負担)



中国

【研修大学】

上海大学(2023年度は実施しない)

【内容】

中国語のレッスンを受けるとともに、上海大学学生との交流や上海市内の教育文化施設・企業見学などを行う。

【研修時期】

3月、2週間以内

【教員の引率】

有

【定員】

12名前後

【費用】

約16万円(履修学生負担)

【履修要件】

全学共通科目の中国語を4単位以上取得、1年生の場合は前期2単位を修得し、後期開講の中国語を受講している学生。



履修方法:研修の概要についてのプリントを中国語の授業時に配布するので、よく読んで検討すること。履修希望者は10月の海外研修説明会に出席し、11月上旬に申込書兼保証人同意書を学務係に提出する。

台湾

【研修大学】

真理大学(2024年3月実施予定)

【内容】

中国語のレッスンを受けるとともに、真理大学の学生と交流を行い、台北及び淡水の教育文化施設などにおいて研修見学を行う。

【研修時期】

3月上旬頃、約2週間

【教員の引率】

有

【定員】

12名前後

【費用】

約15万円(履修学生負担)

【履修要件】

全学共通科目の中国語を4単位以上取得、1年生の場合は前期2単位を修得し、後期開講の中国語を受講している学生。



履修方法:夏休み前に、研修の概要についてのプリントを中国語の授業時に配布するので、よく読んで検討すること。履修希望者は夏休み明けの海外研修説明会に出席し、11月上旬に申込書兼保証人同意書を学務係に提出する。

韓国

【研修大学】

本学の韓国協定校
(例:聖公会大学校)



【内容】

韓国語の授業と実地研修(韓国文化社会体験)を行う。

【研修時期】

8月、2週間

【教員の引率】

経済学部参加学生数などにより有。本学教員の引率がなく、学生のみで参加の場合、協定校の教職員がサポートする。

【定員】

10名程度

【履修要件】

韓国語Iの単位を修得見込み又は取得済みの者で、研修後の後期に韓国語IIの単位を履修予定または単位修得済みの者。韓国語Iを履修中の1年生から申し込める。

【履修方法】

シラバスに掲載する。それに従って履修希望を提出する。

【費用】

約20万円(履修学生負担)

※経済学部以外の学生の単位認定については、所属学部に確認すること。また、経済学部生の参加が4名を下回る場合は実施されないこともある。

協定校訪問

一 創造工学部・工学研究科・創発科学研究科(工学系領域) 「協定校訪問交流プログラム」

創造工学部の協定校のうちいずれか1校、または複数校を訪問します。協定校での交流や英語による研究発表の他、地元企業への訪問も行います。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンライン形式での実施の可能性あり。

【訪問先】

年度によって異なる。その年度の訪問先大学は創造工学部で確認すること。

【定員】

約15名

【内容】

概要は上記の通り。
詳細は創造工学部で確認すること。

【教員の引率】

有

【費用】

訪問先によって費用は異なる(学生負担)。
後援会加入者でこのプログラム初参加の者には、後援会より助成あり。

【訪問時期】

9月頃、1週間程度

【参加要件】

創造工学部生、工学研究科大学院生、
創発科学研究科(工学系領域)大学院生

【募集時期】

4月

※ 創造工学部で募集要項を入手すること。
このプログラムに応募する学生は説明会へ必ず参加すること。
また、選考後の準備会と事後報告会にも必ず参加すること。

【選考方法】

書類審査と日本語・英語での面接審査による。





創造工学部「国際インターンシップ」

創造工学部「国際インターンシップ」

国際インターンシップ

— 創造工学部・工学研究科・創発科学研究科(工学系領域)「国際インターンシップ」

フランス、ドイツ、フィンランド、スウェーデンなどにある創造工学部の協定校のうちいずれか1校のインターンシップに参加します。インターンシップ先は協定校の研究室や研究機関などです。

【派遣先】

創造工学部・創発科学研究科(工学系領域)とインターンシップ協定等を締結している海外の大学のうちいずれか1校を選ぶこと。尚、インターンシップ協定等を締結している海外の大学は以下の通り。

●フランス

サボア・モンブラン大学
コンピエーニュ工科大学
リモージュ大学
ESIEE PARIS
アルビ鉱山大学
アレス鉱山大学

●ドイツ

ボン＝ライン＝ズィーク大学

●フィンランド

ラップランド応用科学大学

●スウェーデン

ハルムスタッド大学

●アメリカ

トレド大学

●オーストラリア

キャンベラ大学

【内容】

概要は上記の通り。詳細は創造工学部で確認すること。

【留学時期】

9月頃、2～6か月程度(諸条件によって異なる)。詳細は創造工学部で確認すること

【履修要件】

創造工学部3～4年生、かつTOEIC500点程度を有する者。
工学研究科博士前期課程または創発科学研究科(工学系領域)1～2年生、博士後期課程1～2年生、かつTOEIC550点程度を有する者。
その他条件は、創造工学部で確認すること。

【募集時期】

12月頃

※ 創造工学部で募集要項を入手すること。

このプログラムに応募しようとする学生は事前説明会へ必ず参加すること。また、選考後の準備会と事後報告会にも必ず参加すること。

【選考方法】

書類審査と英語による面接審査による。



【定員】

約10名

【教員の引率】

無



【費用】

派遣先によって費用は異なる(履修学生負担)。後援会加入者には後援会より助成あり。香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できる。

※ この事業については、創造工学部へ問い合わせること。

問合せ先 創造工学部 (087-864-2028 / koryugaku-t@kagawa-u.ac.jp)



農学部「国際応用科学研修I・II」

国際応用科学研修I

【研修先】

タイ・アサンブション大学

【内容】

交流協定校であるアサンブション大学で英語による授業を受講する。また、現地の大学生との交流や研究室での活動、プレゼンテーションを行う。

【研修時期】

2月の定期試験終了後、1週間程度

【履修要件】

農学部1～4年生

【履修方法】

11月頃説明会を開催し、参加者募集。開催日は農学部学務係で確認すること。農学部特別講義「国際応用科学研修I」として開講。



【定員】

8名程度
(6名以下の場合は、開講できない可能性がある)

【本学教員の引率】

有

【費用】

約18～22万円、その他雑費(履修学生負担)
農学部後援会補助上限2万円(後援会加入者のみ)

国際応用科学研修II

【研修先】

ベトナム・ハノイ工科大学など(予定)

【内容】

交流協定校であるベトナム・ハノイ工科大学に約1ヶ月間派遣し、大学教員による食農に関するセミナーを、現地の大学生とともに受講する。また、ハノイ工科大学の研究室での研修、現地の大学生との研究交流及びジョイントセミナーでの発表を行う。さらに、現地の食品工場を訪問し、海外での食品製造の現場を視察、ベトナム系と日系の食品工場の相互比較を行う。



【研修時期】

8月～9月、32日～40日程度

【履修要件】

農学部2～4年生

【履修方法】

4月頃説明会を開催し、参加者募集。開催日は農学部学務係で確認すること。農学部特別講義「国際応用科学研修II」として開講。

【定員】

約8～10名

【本学教員の引率】

有

【費用】

約10～12万円、その他雑費(履修学生負担)
農学部後援会補助上限2万円(後援会加入者のみ)

※上記プログラムは予定です。状況によって、変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

問合せ 農学部学務係(087-891-3005 / gakumu-a@kagawa-u.ac.jp)



農学研究科

「チェンマイ大学・ダブルディグリープログラム」

ダブルディグリーとは、香川大学大学院農学研究科とチェンマイ大学大学院農学研究科、または農産学研究科それぞれから修士の学位を取得できるものです。このダブルディグリープログラムでは、チェンマイ大学大学院農学研究科または農産学研究科と香川大学大学院農学研究科の双方に籍を置き、両大学の指導教員から指導を受けられます。両大学の指導のもとで、最先端の科学技術を学ぶ機会を提供し、グローバルな産業界の発展に貢献できる人材の育成を目指すものです。

【留学先】

タイ・チェンマイ大学大学院農学研究科、または農産学研究科

【履修方法】

4月頃募集。詳細は農学部学務係で確認すること。

【内容】

概要は上記の通り。詳細は農学部学務係で確認すること。

【定員】

3名以内

【留学時期】

8月～翌年7月、約1年間

※約1年間の留学期間を含み、修士課程入学から2年半、香川大学大学院に在籍することが求められる。

【教員の引率】

無

【費用】

約64万円、その他雑費(履修学生負担)
香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できる。

※この事業については、農学部学務係、または国際課へ問い合わせること。

【履修要件】

農学研究科修士課程1年生、TOEFL PBT450点以上相当



問合せ 農学部学務係 (087-891-3005 / gakumu-a@kagawa-u.ac.jp)

留学経験者の声

香川大学の留学プログラムを利用した学生を紹介します。

木谷 修太郎さん(法学部3年生※)

留学制度 EXPLORE

留学先 ブルネイ・ダルサラーム大学

留学期間 2022年8月～12月

私は大学三年生の8月から12月の間、ブルネイ・ダルサラーム大学に留学していました。本来であれば大学一年生の時期に留学に行く予定でしたが、コロナの影響で二年間延びてしまいました。大学入学前から漠然と海外にはいきたいと思っていたため、十分な時間がとれる大学生活の内に行動しようと思ったのがきっかけです。



私が留学制度でEXPLOREを選んだ理由は二点あります。一点目は奨学金が出ること、二点目は就活との兼ね合いを考えたときに、この留学期間が最も都合がよかったためです。留学に行くことが決定してからはブルネイについて調べ、政治や宗教などに興味も持ちましたが、それまでは明確な目的は持っておらず、現実的な理由から絞り込み、この制度にたどり着いただけというのが正直なところです。

現実的な条件から決定した留学でしたが、非常に充実したもだったと自信を持って言えます。目的が明確であればそれに越したことはありませんが、自分が何をしたいのかを知るために留学に行ってもよいと思います。留学先で、どのような人と会いどのような経験をするのか、そこから何を学ぶかは行ってみなければわかりません。留学を悩んでいる人は一度考えるより行動してみてもいいと思います！

水早 里菜さん(教育学部3年生※)

留学制度 協定校への留学

留学先 クライストチャーチ工科大学
(ニュージーランド)

留学期間 2020年3月

私は、外国にルーツをもつ子どもたちが増加している香川県で将来教師となるために、学校・家庭・地域の三者の連携の在り方を探ることを目的として、半年間留学することになりました。留学先には、多民族国家でボランティア活動の制度が整っており、香川大学と協定校であるニュージーランドのAra Institute of Canterbury(クライストチャーチ工科大学)を選択しました。



新型コロナウイルスの影響により惜しくも滞在期間1ヵ月間で帰国することになりましたが、その間現地でホームステイをしながら英語学習に励み、ニュージーランドの教育事情を知ることができました。その経験を活かして、帰国後は日本の学校でボランティア活動をしています。

今回の留学ではトビタテ1留学JAPAN地域人材コースという制度を利用しました。この制度は、留学テーマや留学期間が自由に設定でき、給付型の奨学金が受けられるので、自分の可能性を広げるためにぜひ挑戦してみてください！

網干 まりんさん(経済学部4年生※)

留学制度 ネクストプログラム・グローバル人材育成コース(中国語)

留学先 国立政治大学(台湾)

留学期間 2019年9月～2020年4月留学
帰国後、4月～6月までオンラインで受講

私は大学に入学する前から留学に行くことを決めていました。入学後、第二言語で中国語を履修しました。そこで、中国語を取得すればコミュニケーションの幅が広がると思い、中国語で留学したいと思いました。しかし、初めて習う言語であること、金銭面での支援なしで留学することなどの不安は大きかったです。その時にちょうど授業内で紹介されたのがこのネクストプログラムでした。留学に行くまでに基礎から応用まで少人数で手

厚く学べる授業があったり、留学中に金銭面でもサポートを受けられたりするということを知り、参加するしかないと思いました。

そして、HSK5級を取得し3年生の後期から台湾の国立政治大学へ交換留学を行いました。留学当初、授業で中国語が全く聞き取れない・話せないということを経験しました。しかし、先生や同じ授業を受けている学生が必ず助けてくれました。また、サークルにも参加し、一緒に遊んだり言語交換したりする友達を作りました。

成功も失敗もすべて経験で、留学を通して語学以外でも学ぶことも多く、人間としても成長する機会でした。コロナで最後まで現地での留学はできませんでしたが、台湾留学は私の一生の財産になりました。



大川 真実さん(農学研究科1年※)

留学先 トリノ大学(イタリア)

留学制度 研究留学(国際研究)

留学期間 2019年10月~2020年3月

私は大学院1年の10月に半年間イタリアのトリノ大学で研究留学を行いました。留学するきっかけは、まず私は香川大学で家畜に昆虫を与える昆虫飼料の研究を行っており、よりその分野について深く学びたいと思いました。そのため、昆虫飼料について多くの研究が行われているトリノ大学で研究をしたいと思い、留学を決めました。

留学先ではトリノ大学が所有する研究所に通いました。初めは、トリノ大学が行っている研究の手伝いをするのみでした。また、働いている研究員や学生の英語力の高さに圧倒され、英語で話すことに怖気ついてしまうこともありました。しかし、受け入れ先の教授や学生に自分が日本で行っている研究について相談したところ、トリノ大学で自分の研究を進める許可をいただき、実験を開始することができました。その際、例え英語が伝わらなくても、自分が伝えようとする意志を見せれば、相手は真剣に話を聞いてくれ理解しようとしてくれることを知りました。



今回の留学で経験したことは自分にとって大きな自信となりました。また留学を通して語学力の向上だけでなく、様々な人と出会うことによって人間性も向上させることができると感じました。

また今回の留学においては、香川大学グローバル人材育成特定基金の支援事業に採択され、準備金と月額の研究費をいただきました。香川大学では奨学金等の留学への支援が整っているため、ぜひ留学に挑戦することをお勧めします。

和田 紗月さん(工学研究科博士前期課程1年※)

留学先 ポン＝ライン＝ズィーク大学(ドイツ)

留学制度 国際インターンシップ

留学期間 2019年9月~2020年1月

私は国際インターンシップに参加した先輩のお話を聞き、興味を持ったため応募しました。

留学先では信号処理の研究をしました。担当の教授は大変親切な方で、円滑に研究を進めることができました。研究の他にドイツ語やビジネス英語などの授業も受講し、工学的な分野だけでなく様々な知識を身につけました。大学は国際色豊かでイベントが多く、多くの国の人と友達になることができました。



留学を通して、海外の文化を理解したり社会問題について深く考えるようになったりと、価値観が大きく変わりました。日本にいれば絶対に気づくことがない発見がたくさんありました。自分自身が大きく成長したと感じる4カ月半でした。この経験は必ず将来に活かすことができると感じています。海外生活は貴重な経験なので、後輩の皆さんもぜひ挑戦してみてください。

※ 留学当時の所属

海外渡航学生のための危機・安全管理

海外渡航中に事故や病気にかかったり、犯罪に巻き込まれたりしないために、出発前の十分な情報収集や健康管理を心がけてください。また、災害や暴動などの緊急時にも慌てず対応できるように、事前に、担当教員や保護者、留学先の大学などの担当者との連絡体制を確認しておきましょう。

香川大学を通して海外へ派遣される学生は、**本学が指定する海外危機管理サービスへの加入と渡航前オリエンテーション(危機管理セミナー)への出席が義務付けられています(例年8月と2月)**。また、**個人旅行などの私事渡航の学生も、このセミナーへ出席することが求められています**。

渡航学生が取るべき危機対応要点

1. 国際情勢や、渡航先の安全性(テロ、自然災害、感染症など)についての情報収集を必ず行うこと。
(外務省、厚生労働省などのウェブページを参照)
2. 渡航中の危機に備える海外旅行保険などに加入すること。
3. 渡航先の政治・社会・文化、日本との関係や対日イメージなどを理解しておくこと。
4. 災害やテロなどの緊急時の安否確認、退避の手配などの連絡・保護が在外公館から受けられるように、必ず、外務省「たびレジ」に渡航予定を登録しておくこと。また、3か月以上外国に滞在する者は在留届電子届出システム(「ORRnet」)での滞在予定の登録も義務付けられています。
5. 緊急連絡先(留学先などの電話番号や住所など)を記したメモなどを外出の際は必ず携行すること。
6. 留学先の関係者に緊急時の本学への連絡先を知らせておくこと。
7. 緊急時の保護者への連絡方法を確認しておくこと。

渡航前の手続き等チェック!

- パスポートの写しを所属学部へ提出する。
- 「海外渡航・一時帰国届」を所属学部へ提出する。
- 「海外渡航・一時帰国届」に以下の書類を添付する。
 - 渡航目的の概要(研修プログラムや飛行機のスケジュール等)が分かる資料
 - 旅行社の連絡先が分かる資料
 - 海外旅行保険証書のコピー(本学にて一括して加入した海外旅行保険以外の保険に加入している場合)
 - 新型コロナウイルス感染症の影響により、提出書類は随時変更となる可能性がある。所属学部、または国際課に確認すること。
- 危機管理セミナーに出席する。
- 外務省「たびレジ」へ渡航予定を登録する(3か月未満の渡航の場合)。
- 外務省「ORRnet」で滞在予定の登録をする(3か月以上の滞在の場合)。
- 渡航や滞在予定の国や地域の安全情報を確認する。

「たびレジ」と「ORRnet」の登録はこちらからどうぞ。

ホームページ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>



自分が渡航や滞在を予定している国や地域の安全は、
事前に必ず確認しましょう。
外務省の海外安全情報はこちらからどうぞ。

ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>



問合せ先 各学部学務係、または国際課(087-832-1149 / globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp)

海外留学のための奨学金

本学の学生が海外の大学などへ留学するための奨学金を紹介します。これらの他にもいくつかの奨学金がありますので、詳しくは国際課及び各学部学務係で確認してください。多くの奨学金は留学開始の半年、または1年以上前から募集が開始されます。奨学金の取得を目指す学生は、早い段階から準備を始めましょう。

奨学金名称	応募資格 ^(※)	支給額	返還義務	募集期間
独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援制度 (大学院学位取得型)	修士・博士の学位を取得するために留学(ダブルディグリープログラム等国際共同学位プログラムによる留学を含む)する、日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者 その他、学業成績要件、語学要件、年齢制限等がある。	〈奨学金〉 月額8万9千円~14万8千円 留学先国・地域により異なる 〈授業料〉 年間250万円を上限とする実費額(これらの支給額については、政府予算の状況により変更する場合がある)。	無	9月頃
独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援制度 (協定派遣)	本学と諸外国の大学等との学生交流に関する協定等に基づいて、本学に在籍したまま、31日以上1年以内(タイプA)または8日以上1年以内(タイプB)の期間、本学が実施する派遣プログラムにより派遣される学生(大学がプログラムを申請)	〈奨学金〉 渡航支援金(基準を満たす者のみ)13万円もしくは16万円 月額6万円、7万円、8万円、10万円のうち、いずれか(渡航先に応じて決定する)。	無	プログラム開始時期により異なる (掲示に注意すること)
独立行政法人 日本学生支援機構 第二種奨学金 (短期留学)	国内の学校に在籍し、海外の大学等に3か月以上1年以内(ダブルディグリーの場合は2年以内)の短期留学をする者で、下記のいずれかの条件で留学を希望する者 (1) 本学の学生交流に関する協定等に基づく留学 (2) 留学により取得した単位が、本学の単位として認定される留学 (3) 大学院に在籍中の学生の研究のための留学で、本学学長が有意義と認めた留学	〈大学〉 月額2万円~12万円の1万円単位から選択	有 (有利子)	留学開始時期により異なる
		〈大学院〉 月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択		
独立行政法人 日本学生支援機構 第二種奨学金 (海外)	学位取得を目的として海外の大学・大学院に留学を希望する者	〈大学〉 月額2万円~12万円の1万円単位から選択	有 (有利子)	進学時期により異なる
		〈大学院〉 月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択		
香川大学グローバル 人材育成特定基金 外国へ留学する学生 援助事業	本学在籍の学生又は大学院生で6ヶ月以上外国の大学等へ留学する者、またはダブルディグリー・ジョイントプログラムにより外国の大学へ留学する者で、部局長等が推薦する者	〈奨学金〉 月額3万円 〈準備金〉 4万円(アジア地域) 8万円(アジア地域以外)	無	留学開始時期により異なる

(※)ここに掲載している情報は2022年度又は2023年度3月現在の情報です。最新情報、応募資格の詳細については、各奨学金の募集要項で確認してください。

官民協働海外留学支援制度

～トビタテ!留学 JAPAN 新・日本代表プログラム～



トビタテ!
留学JAPAN

その経験が、未来の自信。

トビタテ!留学 JAPANとは、2013年に開始された、官民協働でとりくむ留学促進キャンペーンのことです。その取り組みのひとつとして、2014年に「日本代表プログラム」がスタートし、将来世界で活躍するグローバル人材の育成をめざして、民間企業からの寄付をもとに留学の支援が行われてきました。

その基本理念を受け継ぎつつ、より発展的に進化した事業として、2023年度から「新・日本代表プログラム」が始まりました。「自ら社会に変革を起こしていくグローバルリーダー」として、日本の未来を創る人材育成をめざすプログラムです。明確な目的に基づいた実践的な海外での学びを自ら計画・実現し、将来リーダーシップを発揮して活躍する意志のあることが求められます。

詳しくはホームページを参照してください。また、インターナショナルオフィスでは、応募の相談を行っていますので活用してください。



URL <https://tobitate.mext.go.jp/newprogram/uv/>

問合せ先 地域・産官学連携戦略室 植村 (087-832-1197 / uemura.yukako@kagawa-u.ac.jp)

海外留学のための奨学金

トビタテ!留学 JAPAN 地域人材コース 「香川地域活性化グローバル人材育成プログラム」

香川県の産学官が一体となって目指している、県の各種産業の発展に欠かせない人材を育成することを目的としており、将来香川県に定着して地域活性化に取り組む意欲のある学生を支援する制度です。年に一度募集しており、支援額は他のコースとほぼ同額です。

留学テーマ

本コースは県の産業発展に欠かせない人材を育てるため、香川県が定める「香川県産業成長戦略」において成長のエンジンとなる6分野や5つの重点産業テーマに関わる留学が支援の対象となります。

【成長のエンジンとなる6分野】

- 地域資源や伝統技術を活用した特長ある食品・バイオ関連分野
- 健康関連分野
- 先端技術や基盤技術を活用したものづくり分野
- エネルギー・環境関連分野
- 高品質な農産物づくり分野
- 観光関連分野

【5つの重点産業テーマ】

- 希少糖産業
- オリーブ産業
- かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)関連産業
- ものづくり産業
- アート産業

これら以外の分野やテーマの留学計画であっても、香川県の地域活性化との密接なつながりがあるとされる場合は申請することが可能です。

また、具体的なプログラム内容については、地域コーディネーターと相談しながら決めることも可能です。

【応募方法】

2023年度の募集は中止が決定しています。

問合せ先 地域・産官学連携戦略室 植村 (087-832-1197 / uemura.yukako@kagawa-u.ac.jp)
教務課学務係 教育学部担当 (087-832-1411 / i-kokusai-c@kagawa-u.ac.jp)
教務課学務第一係 法学部担当 } (087-832-1815 / je-kokusai-c@kagawa-u.ac.jp)
教務課学務第二係 経済学部担当 }
医学部学務課教務係 (087-891-2071 / kyoumu-m@kagawa-u.ac.jp)
創造工学部学務係 (087-864-2028 / kokokusai-t@kagawa-u.ac.jp)
農学部学務係 (087-891-3005 / gakumu-a@kagawa-u.ac.jp)

【学生の体験談(トビタテ!留学 JAPAN)】

夏目 佳奈さん(農学研究科1年生※)

留学先

Teso North Sub-County-Agricultural Office,
Ministry of Agriculture, Livestock and Fisheries (ケニア)

留学期間

2019年12月~2020年2月

学部3年生で研究室に所属されてから、自分の専門分野を外の世界から見てみたいと思うようになりました。そこで香川県地域人材コースを利用して、研究テーマと絡めて香川県の農業を盛り上げられるような留学をしようと思いました。

現地では、私の研究室に在籍していたケニア人留学生にホストとなって頂き活動しました。解析のための植物のサンプリングを行ったり、地元農家の方たちとのミーティングに参加しました。

トビタテ!での留学は自分で留学計画を立案するため準備段階から決まっていた簡単なものではありませんでした。しかしトビタテ!で留学したことで得られた、経験や感情、メンタルの強さ、人脈は何にも代え難いです。是非留学にチャレンジして、未知なる自分と出会ってください!



村井 颯希さん(工学研究科1年生※)

留学先

キャンベラ大学
(オーストラリア)

留学期間

2019年8月~12月

香川で第2の家族とも言える人たちが「香川にまた帰ってきたい」と言ってくれる留学生と出会い、香川が大好きになりました。香川をより多くの人に知ってもらいたい、自分の専門性を生かして香川をもっと良くしたいと考えるようになり、トビタテ!香川地域人材コースに応募しました。

香川大学では建築構造分野を専門としていますが、建築の他分野も理解できる構造家になりたいと思い、留学先では建築デザインについて学びました。現地の学生と一緒にプロジェクトに参加し、公園の活性化を図るための建築を提案しました。ディスカッションやモデル作成、プレゼンテーションを通じて、相手に魅力的に伝えるための英語力とデザイン力を磨くことができました。

トビタテ!では目的や専門が違っても同じ志を持った仲間に出会えます。ぜひ皆さんも仲間と切磋琢磨しながら、自分の留学を実現してほしいです!



※ 留学当時の所属

キャンパスのなかでの国際交流活動

グローバル・カフェ(幸町キャンパス)

オリブスクエア2階の「グローバル・カフェ」は、リラックスしたカフェのような雰囲気でも、楽しみながら語学力を高めることができる教育スペースです。授業に加え、もっと語学を勉強したい学生のために、香川大学のネイティブ教員や留学生による様々なワークショップを開催しています。また、楽しいイベントや英語力を試すプレゼンテーションコンテスト・TOEIC S&Wテストの無料受験も開催します。英語以外にも、中国語・フランス語・スペイン語等のクラスも開講しています。詳しくは、公式Twitter、Facebook、HP等で告知します。スタッフにもお気軽にお問い合わせください。



【学生VOICE】

東本 和将さん

僕は、幼い頃から、海外の映画やアニメ、YouTubeを通して、日本と海外の文化の違いを知るのが好きで、大学に入ってから、グローバル・カフェを知り、興味がわいたので利用し始めました。

初めは自分の英語に自信がなく、英語の会話を聞き取れることも、伝えたいことを話すことも難しかったです。でも、ここに通うようになってから、自分の英語に自信を持てるようになり、アクセントが強い英語も聞き取れ、伝えたいことを簡単な単語を使いながら話せるようになりました。

留学生たちと交流していると、各国の文化の違いはもちろん、日常で使える英語の表現や、海外で流行っているもの、海外の人からみた日本のおかしなところなど、たくさんの発見をすることができます。また、グローバル・カフェでは、英語だけでなく、中国語、韓国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語…いろいろな言語での会話が飛び交っていて、その言語の知識がなくても楽しめます。

いろんな国の文化を知りたい！ K-POPについて語り合いたい！ 英語は苦手だけど留学生たちと遊びたい！ 外国語でしゃべりたい！ などなど…グローバル・カフェを利用する理由は十人十色です。どんな理由でも、少しでも興味をもっているのなら、是非、気軽に寄ってみてください！ きっと新しい発見が待っていますよ！！

幸町キャンパス以外では、イングリッシュカフェが実施されています。各キャンパスの掲示板や事務窓口で確認しましょう。

問合せ 087-832-1268
087-832-1342(不在時は左記にお電話ください)
globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp

Tim Oscar Jonas Anderssonさん

Hello! My name is Tim, and I am an exchange student from Sweden! I came to Kagawa University on an internship and to work on my master's thesis.

My current university has an exchange program to Japan for an internship which fits perfectly into my studies, so, I jumped at the opportunity to go. I always recommend other students do an international exchange to experience another culture. The host university also helps you take care of many things, making the stay comfortable.

That is also why I recommend the Global Café. I always look forward to spending time there since the staff and students who frequently visit truly give the space a warm atmosphere. They also hold fun events where you can get to know other students, enjoy movies, or practice your English or Japanese. Of course, the space can also be used as a study area or to relax. It is a bright space with various books to borrow. It is a great place to make new friends, and I'm always happy whenever I am invited to events there.

My stay has been fantastic, thanks to everyone I have met here. So, if you are thinking about visiting the Global Café, please don't hesitate. I promise you won't regret it!

グローバル・カフェのワークショップやイベントの情報は公式SNSで公開しています。



Facebook



Twitter



LINE

LINE
チャットでも
問合せできます。

国際寮への入居、外国人留学生寮でのレジデンスチューター

本学の寮で外国人留学生と一緒に生活してみませんか。留学するには不安がいっぱい、でも、留学前に生活スタイルや食生活の違い、ことばの壁を体験しておけば、留学先での生活に対する不安が和らぐかもしれません。また、留学せずに異文化体験をする絶好のチャンスです。入居者要件や募集、寄宿料などは国際課で確認してください。

問合せ 国際課(087-832-1149/ryugaku-h@kagawa-u.ac.jp)

海外留学情報リンク集

① 海外留学支援サイト

独立行政法人日本学生支援機構が運営する海外留学を考える方への情報サイトです。

ホームページ <https://ryugaku.jasso.go.jp/>



② 官民協働海外留学支援制度「トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム」

派遣留学生自らが立案する留学計画を官民協働で支援するプログラムです。

ホームページ <https://tobitate.mext.go.jp/newprogram/uv/>

ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/tobitate/>



③ 各国留学情報サイト

米国 | **日米教育委員会** (日米両政府共同運営の教育交流機関)

ホームページ <https://www.fulbright.jp/study/index.html>

カナダ | **在日カナダ大使館**

ホームページ <https://www.canadainternational.gc.ca/japan-japan/>

英国 | **STUDY UK** (英国の公的機関であるBritish Councilによる留学情報サイト)

ホームページ <https://study-uk.britishcouncil.org/>

オーストラリア | **オーストラリア留学** (オーストラリア政府による留学情報サイト)

ホームページ <https://www.studyinaustralia.gov.au/japanese>

フランス | **Campus France - Japon** (フランス政府留学局・日本支局のサイト)

ホームページ <https://www.japon.campusfrance.org/ja>

ドイツ | **DAAD日本** (ドイツ学術交流会)

ホームページ <https://www.daad.jp/ja/>

韓国 | **Study in Korea** (韓国政府による留学情報サイト)

ホームページ <https://www.studyinkorea.go.kr/ja/main.do>

中国 | **Study in China / 留学中国** (中国政府による留学情報サイト)

ホームページ <https://www.campuschina.org/>

香川大学との学術交流協定校一覧(2023.1.31 現在)

	大学名	主管部局	国・地域
大学間	カセサート大学	農学部	タイ王国
大学間	チェンマイ大学	農学部	タイ王国
大学間	ルイビル大学	法学部	アメリカ合衆国
大学間	サボア・モンブラン大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	南京農業大学	農学部	中華人民共和国
大学間	ミュンヘン工科大学	創造工学部	ドイツ連邦共和国
大学間	メチョー大学	農学部	タイ王国
大学間	国立政治大学	法学部	台湾
大学間	ラインマイン大学	経済学部	ドイツ連邦共和国
大学間	コロラド州立大学	教育学部	アメリカ合衆国
大学間	上海大学	経済学部	中華人民共和国
大学間	ハルビン工程大学	創造工学部	中華人民共和国
大学間	大邱大学	経済学部	大韓民国
大学間	中国海洋大学	法学部	中華人民共和国
大学間	真理大学	経済学部	台湾
大学間	西北大学	経済学部	中華人民共和国
大学間	南ボヘミア大学	教育学部	チェコ共和国
大学間	ハンバット大学	創造工学部	大韓民国
大学間	電子科技大学	創造工学部	中華人民共和国
大学間	天津農学院	農学部	中華人民共和国
大学間	フランシュ・コンテ大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	ブルネイ・ダルサラーム大学	医学部	ブルネイ・ダルサラーム国
大学間	チュラロンコン大学	農学部	タイ王国
大学間	シェレバングラ農科大学	農学部	バングラデシュ人民共和国
大学間	コンピエーニュ工科大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	トリバン大学	創造工学部	ネパール連邦民主共和国
大学間	ムルシア大学	教育学部	スペイン王国
大学間	パッタバン大学	農学部	カンボジア王国
大学間	王立農業大学	農学部	カンボジア王国
大学間	誠信女子大学校	教育学部	大韓民国
大学間	セントピーターズバーグ大学	教育学部	アメリカ合衆国
大学間	リモージュ大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	北京外国語大学	教育学部	中華人民共和国
大学間	長春理工大	創造工学部	中華人民共和国
大学間	浙江工商大	農学部	中華人民共和国
大学間	カリフォルニア州立大学フラトン校	経済学部	アメリカ合衆国
大学間	パリ電子電気工学技術高等学院	創造工学部	フランス共和国
大学間	ガジャマタ大学	農学部	インドネシア共和国
大学間	ディボネゴロ大学	農学部	インドネシア共和国
大学間	州立ロンドリーナ大学	農学部	ブラジル連邦共和国
大学間	国立嘉義大学	創造工学部	台湾
大学間	ガイゼンハイム大学	農学部	ドイツ連邦共和国
大学間	空軍軍医大	医学部	中華人民共和国
大学間	ハノイ工科大学	農学部	ベトナム社会主義共和国
大学間	アサンブション大学	農学部	タイ王国
大学間	ハルムスタッド大学	創造工学部	スウェーデン王国
大学間	聖公会大学校	経済学部	大韓民国
大学間	東西大学校	経済学部	大韓民国
大学間	シラバコン大学	農学部	タイ王国
大学間	エッカード大学	教育学部	アメリカ合衆国
大学間	中国文化大学	法学部	台湾
大学間	台湾中央氣象局	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	台湾
大学間	中東工科大学	農学部	トルコ共和国

	大学名	主管部局	国・地域
大学間	カリフォルニア大学デービス校カリフォルニア大学理事会	農学部	アメリカ合衆国
大学間	河北医科大学	医学部	中華人民共和国
大学間	ノッティンガム大学	農学部	英国
大学間	カンボジア健康科学大学	医学部	カンボジア王国
大学間	プトラ・マレーシア大学	医学部	マレーシア
大学間	ヤンゴン第一医科大学	医学部	ミャンマー連邦共和国
大学間	広西科技大学	創造工学部	中華人民共和国
大学間	フラウンホーファー研究機構応用情報技術研究所	創造工学部	ドイツ連邦共和国
部局間	清州大学校人文学部	教育学部	大韓民国
部局間	クライストチャーチ工科大学	教育学部	ニュージーランド
部局間	江西師範大学外国語学院	教育学部	中華人民共和国
部局間	ガウハチ大学地理学科	教育学部	インド
部局間	インド工科大学グワハチ校	教育学部	インド
部局間	ノースイースタンヒル大学地理学科	教育学部	インド
部局間	上海社会科学院法学研究所	法学部	中華人民共和国
部局間	華東政法法律大学	法学部	中華人民共和国
部局間	Dr.ババサヘブ・アンベッカー・マラスワダ大学経済学部	経済学部	インド
部局間	華僑大学統計学院及び数量経済研究院	経済学部	中華人民共和国
部局間	カルガリー大学医学部	医学部	カナダ
部局間	中国医科大学	医学部	中華人民共和国
部局間	ブルネイ・ダルサラーム国保健省	医学部	ブルネイ・ダルサラーム国
部局間	カリフォルニア大学マーセド校	医学部	アメリカ合衆国
部局間	ニューカッスル大学医学部	医学部	英国
部局間	ボン＝ライン＝スィーク大学	創造工学部	ドイツ連邦共和国
部局間	国立高等精密機械大学院大学	創造工学部	フランス共和国
部局間	トレド大学	創造工学部	アメリカ合衆国
部局間	ラップランド応用科学大学	創造工学部	フィンランド共和国
部局間	漢陽大学工学部及びブレイン・コア21機械工学科	創造工学部	大韓民国
部局間	北京師範大学化学学院	創造工学部	中華人民共和国
部局間	アルビ鉱山大学	創造工学部	フランス共和国
部局間	宝鶏文理学院化学化工学院	創造工学部	中華人民共和国
部局間	陝西科技大学材料科学工程学院	創造工学部	中華人民共和国
部局間	キャンベラ大学	創造工学部	オーストラリア連邦
部局間	アレス鉱山大学	創造工学部	フランス共和国
部局間	ダッカ大学生物科学部	農学部	バングラデシュ人民共和国
部局間	ミシガン州立大学農学・自然資源学部	農学部	アメリカ合衆国
部局間	ポゴール農業大学農学部、大学院研究科	農学部	インドネシア共和国
部局間	ブルゴーニュ大学アグロシップ校	農学部	フランス共和国
部局間	ナンヤンポリテクニク化学と生命科学部	農学部	シンガポール共和国
部局間	ホーチミン市工科大学化学工学部	農学部	ベトナム社会主義共和国
部局間	トリノ大学農林・食品科学部	農学部	イタリア共和国
部局間	吉林農業科技学院	農学部	中華人民共和国
部局間	ナポリフェデリコ2世大学農学部	大学院地域マネジメント研究科	イタリア共和国
部局間	国立中正大学地球・環境科学部	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	台湾
部局間	バンボン工科大学地球科学技術学部	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	インドネシア共和国
部局間	M.V.ロモノーソフ・モスクワ国立総合大学物理学部地球物理学科	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	ロシア連邦
部局間	ペルー国家防災庁	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	ペルー共和国
部局間	西オーストラリア大学英語教育センター	インターナショナルオフィス	オーストラリア連邦

STUDY ABROAD



香川大学インターナショナルオフィス

<https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>



JP0122452A00015